

回覧

ひとりじゃない・・・ 青少年の悩みは「ふらっぶ」へ



ふらっぶだより

第10号

発行日：平成26年6月11日

発行：宇都宮市青少年自立支援センター

C君

20代男性。小・中学校と不登校。学校に通い直したい希望を持っていた。

青少年自立支援センター「ふらっぶ」では、ニート・ひきこもり、非行など青少年の悩みごとの相談をお受けしています。

自立に向けての悩みは、「就活がうまくいかず落ち込んでいる」「社会に出ていく自信がない」など様々です。一人ひとり悩みをどう乗り越えるか、相談員と一緒に考えながら、少しずつ歩み出しています。今回紹介するC君は、不登校からもう一度学校に通えるようになったケースです。

学校に行きたいけれど

小・中学校の時にじめを受け、学校に通うことができなくなってしまったC君。中学校卒業後も何となく家に居るような生活を続けていました。そうして3年が経つころ、知り合いやネット上の友人が充実した高校生活を送り、大人になっていくのを見て、勉強をしたい、学校生活をやり直したいという気持ちが高まり、ある相談窓口で電話したところ、「ふらっぶ」を紹介されました。

希望を形に

C君は、「学校で学びたい」という目標がありました。その手段が見つからないことや学力不足などに不安を抱いていました。C君が自分に合った学校の選択や不得手な漢字の書き方に苦勞しているとき、「ふらっぶ」では、高校への応募動機作成を見守るなど本人の気持ちに寄り添い、C君の希望を少しずつ形にしていきました。

昨年の春、努力の甲斐もあって希望校に入学することができ、冬からはアルバイトも始め、充実した学校生活を送っています。

心の支えに

入学後もC君は時間がある時には、「ふらっぶ」に近況を報告しています。“あの時の「ふらっぶ」との出会いが無かったら、今の僕はいないと思っている。「ふらっぶ」は僕の心の支えです。”

次は働いたお金で自動車免許を取りたいと夢を話してくれました。

C君へ「ふらっぶ」より

そっと背中に手を

相談してみようという意志と、自ら学校に問い合わせ、願書を取り寄せるなど、学ぶことの熱意を感じました。夢を形にするために、少し背中を押ささせていただきました。ファイト。

「ふらっぶ」は、宇都宮市子ども部子ども未来課青少年自立支援センターの愛称です。「ふらっぶ」では、カウンセリングなどの専門知識のある相談員がお待ちしています。所内での面接相談や電話相談のほか、必要に応じて、自宅などへの訪問相談や定期的に市役所本庁舎・各地区市民センターなどでの出張相談も行っています。詳しくは、ふらっぶTel.635-5834へお問い合わせください。なお、相談専用電話は633-3715。



大人の愛で 子どもたちを笑顔に

水谷修先生講演会

2月8日、県総合文化センターで非行防止講演会を「夜回り先生」水谷修先生を講師に開催しました。大雪のなか集まった256人は子どもたちに対する先生の熱い思いに心を動かされました。

ここに、先生の講演内容の概要を紹介します。

皆さんも、子どもたちのために自分が何をできるのか、考えてみませんか。



「本当の姿」を見せよう

子ども達に伝えてほしいのは「美しいものを探せ」ということである。美しいものは、人を優しくしてくれる。しかし、良きもの、美しきものを伝えるだけが、心ある大人の仕事ではなく、醜いものの本当の姿を、子ども達にきちっと教えてあげる必要がある。「愛・優しさ」は言葉で伝えるべきではない。愛とは、人間がお互いを必要とし、支え合い、頼り合い、助け合い、共に向き合っていくもので、振り返った時、積み重なって見えてくるのが愛である。生き方も言葉で教えてはいけない。生き方は見せるものである。

太陽の下、たくさんの愛を

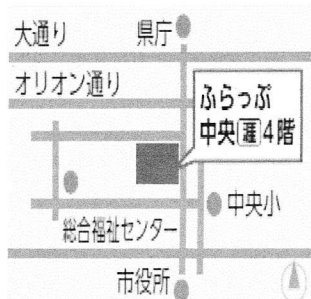
リストカットをするなど、心を病んだ子ども達が増えている。予防する方法は、子ども達にとって、いかに家庭が笑顔溢れる幸せな場になるか、学校が自己実現できる評価を得られる本当に楽しい場所になるかにかかっていると考えている。子ども達に笑顔を育て、認めてやってほしい。悩んだ時、苦しい時こそ、太陽の下、美しいものに触れることが一番の治療法だと思っている。「携帯電話・ゲーム機・インターネット」については、

今、大人たちは、これらを危険なものと認識せずに、何の管理、指導のないまま与えている。人間はその習性から、夜は感情が不安定になるのに、夜、これらを用いてコミュニケーションをとるために問題が起きる。日本の子ども達に「薬物・ドラッグ」という悪魔が確実に近づいてきている。薬物は病気であるから愛の力ではやめられない。子ども達の花の種は、暖かい太陽の下、昼の世界で、多くの仲間や大人達から、たくさんの愛という糧をもらわないと咲かないが、長い人生の中で、自分の力で咲かせてほしい。

次の世代も幸せに

今、私達が生きているのは、人類の誕生から一度も命の糸が絶えることなく紡がれてきたからである。多くの人達から預けられ、託された命を、絶やさずに生き抜いて、次の命に繋いで託してほしい。我々大人にとって最も大切なことは、次の世代を担う子ども達を、いかに笑顔にし、幸せにするかだと思っている。もう一度地域を持ち直して、我々一人一人が、子ども達のそばに寄り添い、笑顔や優しい言葉をあげられるようになることを信じている。

◆青少年の総合相談窓口「ふらっぶ」 「ひとりじゃない」



みない〜こ

◇相談専用電話 **028-633-3715**

◇相談時間 月曜～金曜 午前9時～午後5時
(受付は午後4時10分までです)
(但し祝休日、年末年始は除く)

※予約の上お越しくください。費用は無料。
※相談内容は厳重に管理されますので、外部に漏れることはありません。

◇所在地

中央1丁目1番13号

中央生涯学習センター4階